

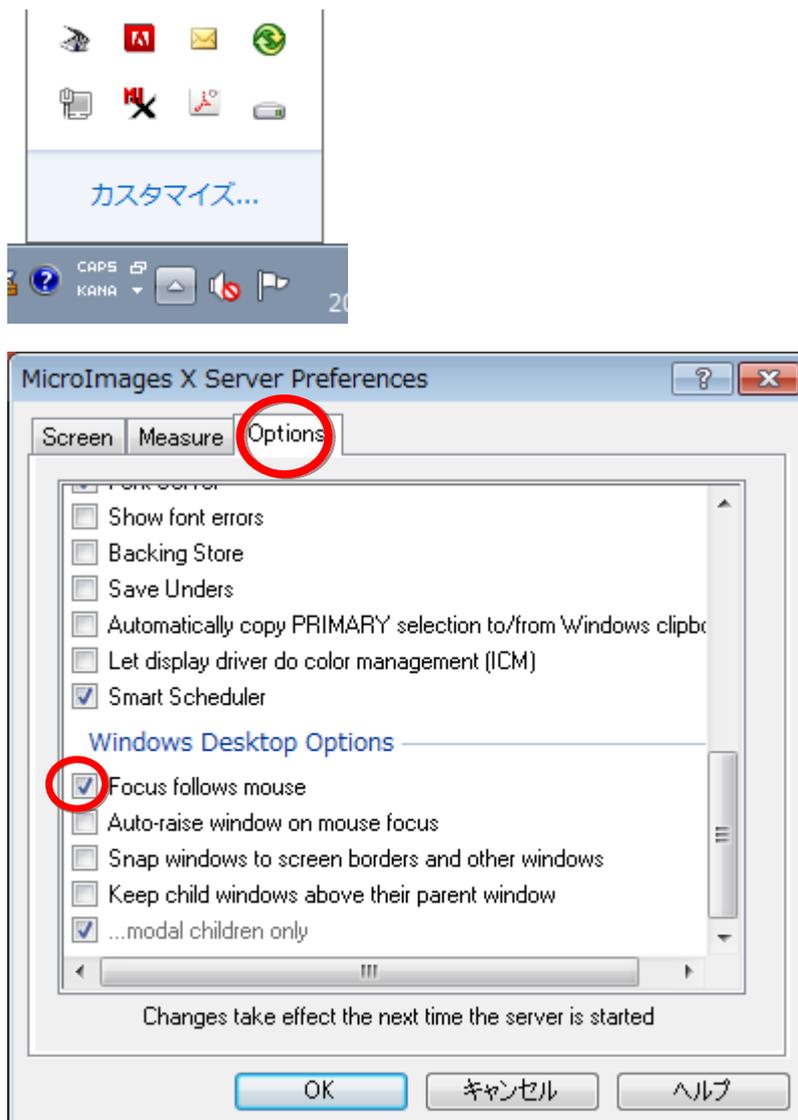
TNTmips 表示画面ウィンドウの重なり方の設定

- (A) X デスクトップモードでは、表示画面で要素を選択するときに、
表示画面の上に重なって表示しているテーブルはそのまま表示画面の上に残っています。
(ウィンドウのタイトルバー部分をクリックすればそのウィンドウは前にきます)
- (B) Windows デスクトップモードでは、同じ操作をすると、テーブルは表示画面の後ろに行きます。

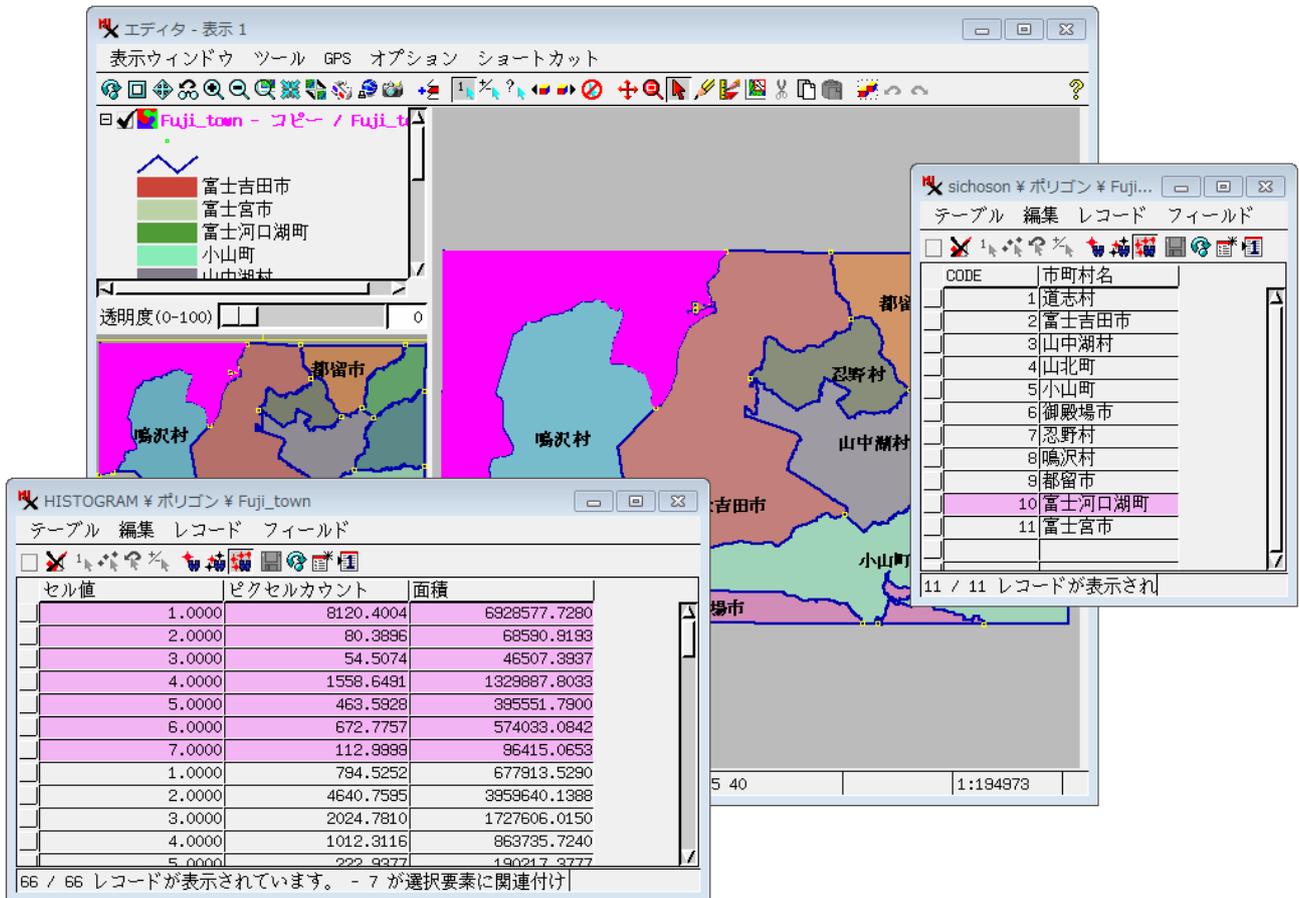
要素を選択時に、テーブルをそのままの位置にして操作したい時は下記設定を。(Windows7)

TNTmips を起動中、タスクバーの「隠れているインジケータを表示」より、
X Server Preferences の Option タブの「Windows Desktop Options」の「Focus follows mouse」を ON
にする。

Windows デスクトップモードでも上記(A)の動作になります。(切りかえに X の再起動は必要なし)



↓ 要素を選択しても表示画面の上に重なっているテーブルは後ろに隠れない



また、この設定によって、表示ウィンドウのタイトルバーをクリックしてわざわざアクティブにしなくても、マウスを置くことにより2倍拡大や縮小などのショートカットキーが使えるようになります。

(株)オープン GIS